

# 「いるまの」

「仲よくする子考える子やりぬく子」の育成

## 学校評価、全国・県・入間地区の学力・学習状況調査の結果から、後期「学校運営改善策」立案



昨年同様、4月に行われた各種学力・学習状況調査と、7月に実施した学校評価に関するアンケート結果から、後期学校運営改善策を立案しました。新学期がスタートし、入間野小学校の全教職員が一丸となって取り組んでいます。ここに結果の概要をご報告し、改善策をお示しいたします。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査、入間地区学力調査の結果

★平成28年度入間地区学力調査の結果【本校の概要】

- 実施月日 平成28年 4月12日(火) 13日(水)
- 実施学年 第2学年～第6学年 ○実施教科 国語・算数
- 結果の考察

実施した全学年、国語科も算数科も入間地区の平均を越えました。国語では、「漢字やローマ字の読み・書き」の正答率がやや低く、算数科では、数と計算や図形の領域に課題が見られました。

★平成28年度埼玉県学力・学習状況調査の結果【本校の概要】・・・個票は、1学期末に返却しています。

- 実施月日 平成28年 4月14日(木)
- 実施学年と結果 第4学年～第6学年 ○実施教科 国語・算数・質問紙

	国語 4年	国語 5年	国語 6年	算数 4年	算数 5年	算数 6年
本校正答率	62.0%	67.5%	65.4%	73.0%	70.1%	73.1%
埼玉県正答率	59.9%	64.5%	60.4%	68.6%	68.9%	65.0%

○結果の考察

実施した全学年、国語科も算数科も県の平均を越えました。国語では、第4学年の「話す・聞く」、算数科では、第5学年の「数学的な考え方」の正答率がやや低く、今後の指導の重点となりました。

★平成28年度全国学力・学習状況調査の結果【本校の概要】・・・個票は、個人面談の際、返却します。

- 実施月日 平成28年 4月19日(火)
- 実施学年 第6学年
- 実施教科等と結果

- ・国語A(主として「知識」に関する問題) ・国語B(主として「活用」に関する問題)
- ・算数A(主として「知識」に関する問題) ・算数B(主として「活用」に関する問題)
- ・質問紙調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査)

	国語A [主に知識]	国語B [主に活用]	算数A [主に知識]	算数B [主に活用]
本校正答率	84%	67%	87%	53%
全国正答率	73%	58%	78%	47%

○結果の考察

全項目において全国平均と比較して6～11ポイント高いのですが、算数では、数学的な考え方にやや課題が見られました。学校のきまりを守り、自分の考えを発表し、補充学習を含め粘り強く学習する態度を大切にしてきた成果が見られます。総合的な学習の時間に意欲的に臨む児童を育成していきたいです。

### 学校評価の結果

教職員の自己評価では、①自分の考えを届く声で話す子②文字を丁寧に書く子の育成と、③活用する力の育成のための指導の充実が、2学期へ向けての重点課題となりました。また、教職員と児童・保護者のアンケート結果を、裏面のように連動させて考察すると、④家庭学習の習慣化や⑤丁寧な言葉づかいについて、継続して指導し、身につけさせていく必要性が見られました。

# 入間野小学校平成28年度前期学校評価

\*a (4点) b (3点) c (2点) d (1点) として点数化

\*3.4 点以上は A 2.8 点以上～3.4 点未満は B 2.8 点未満は C



NO	項目	教職員	児童	保護者
1	児童は、相手に届く声で話している。	B 2.8	B 3.3	B 3.3
2	児童は、文字を丁寧に書いている。	C 2.7	B 2.9	B 2.8
3	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	B 2.9	B 3.1	B 2.9
4	児童は、自分から目を見て挨拶をしている。	B 2.9	B 3.3	B 2.9
5	児童は、「オアシスご」を使っている。	B 3.1	A 3.4	B 2.9
6	児童は、集団のために活動に取り組んでいる。	B 2.9	B 3.2	B 3.2
7	児童は、あきらめずに最後まで取り組んでいる。	B 3.2	A 3.4	B 3.1
8	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B 3.2	A 3.4	B 3.3
9	児童は、いざという時の行動の仕方が分かっている。	B 3.0	A 3.8	B 3.1
10	学校は、計算や漢字などの基礎基本を身につけさせている。	B 3.3	A 3.6	A 3.4
11	学校は、自ら考える力をつけている。	B 2.9	A 3.6	B 3.1
12	学校は、安心して過ごせるあたたかな学級をつくっている。	B 3.0	B 3.2	B 3.2
13	学校は、規律ある態度を身につけさせている。	A 3.4	A 3.5	B 3.3
14	先生は、困ったときに相談に乗ってくれる。	B 3.2	A 3.5	B 3.3
15	学校は、体力を向上させるための環境づくりに取り組んでいる。	B 3.2	A 3.7	B 3.3
16	家庭では、健康診断の結果を子供たちの健康管理に生かしている。	B 3.1	B 3.2	B 3.2
17	学校は、美しい環境を保持している。	B 3.0	A 3.4	B 3.2
18	学校は、教育活動を充実させるため、地域や保護者の支援を生かしている。	B 3.2	A 3.7	B 3.3
19	学校は、学年・行事等の会計の処理管理を適切にしている。	B 3.3		A 3.6
20	職員は、意図的・計画的に学年・学級経営を進めることができた。	B 3.1	※以下は、教職員の自己評価結果をお知らせしています。	
21	職員は、校内研修に意欲的に取り組み、自己研鑽に努めた。	B 3.3		
22	職員は、報告、連絡、相談を密にし、意欲的に職務遂行に取り組んだ。	A 3.5		

## 後期に向けた教育活動改善策

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者の方のアンケート回収率は、94.1 % でした。夏季休業中、この結果や各種学力調査を分析し、以下の「2学期の教育活動改善施策」を立案しました。

### I 届く声で話せる児童の育成 (①は、1年生の改善策です。)

- ①話し方の基本を教える。②朝のスピーチを大切にする。③④グループでの話し合いを取り入れる。  
⑤発表しやすい発問を工夫し、聴く姿勢も指導する。⑥相手や空間を意識して話せるよう指導する。

### II 丁寧に文字を書くことができる児童の育成・・・まずは、机を整理して書けるような指導を行う。

- ①連絡帳のノート指導の時間を設定する。②④⑥掲示物等、人に見せられる文字を書けるようにする。  
③④⑥筆記用具から整えさせる。③⑤⑥決められた時間内に早く丁寧に書く指導をする。

### III 学年・学級経営等

- 学年ドッチボール大会等を自分たちの力で計画させ、学級が楽しいと思えるような経営を継続する。  
○正しいことがしっかり通るような学級づくりを引き続き行う。  
○家庭学習については、「家庭学習の手引き」を利用して指導し、家庭で習慣化できるようにする。